

米軍ヘリコプターの予防着陸に係る緊急要請

令和6年10月18日

神奈川県基地関係県市連絡協議会

外務大臣 岩屋 毅 殿

防衛大臣 中谷 元 殿

神奈川県基地関係県市連絡協議会

会長 神奈川県知事 黒岩 祐治

副会長 横浜市長 山中 竹春

副会長 相模原市長 本村 賢太郎

藤沢市長 鈴木 恒夫

逗子市長 桐ヶ谷 覚

大和市長 古谷田 力

海老名市長 内野 優

座間市長 佐藤 弥斗

綾瀬市長 橘川 佳彦

10月10日午前11時6分頃、米海軍厚木基地所属のヘリコプターMH-60Rが茅ヶ崎市内の海岸に予防着陸を行いました。

予防着陸があった海岸は国道134号を挟んで住宅街や小中学校に隣接する等、一歩間違えれば近隣住民の生命・財産に重大な被害が生じかねない事態でした。

また、県内では、8月にも米軍のヘリコプターMH-53Eによる海老名市内の水田への予防着陸があり、当協議会として必要な安全対策の確実な実施等を強く求めたにも関わらず、再び予防着陸が行われたことは、基地周辺住民の方々に米軍機の安全管理等に対する不信感を抱かせるものであり、極めて遺憾です。

今後は、相次ぐ予防着陸の発生という事態の重大性に鑑み、徹底した再発防止策を講じるとともに、茅ヶ崎市内での予防着陸の経緯等を含め、航空機の運用上の予防着陸の位置づけや予防着陸実施時の手順等について情報提供を行うべきです。

については、日米両国政府で連携のうえ、次の対応を行うよう強く求めます。

- 1 相次ぐ予防着陸の発生を踏まえ、同型機を含めた航空機の徹底した整備を実施するなど、必要な再発防止策を確実に講じること。
- 2 茅ヶ崎市内での予防着陸については、予防着陸に至った原因を分析のうえ、原因に即した適切な安全対策を講じるとともに、関係自治体に対して、経緯、原因等を適時適切に情報提供し、公表すること。
- 3 今回の相次いだ予防着陸に関する事項を含め、航空機の安全性等に関する事項については、引き続き、適時適切な情報提供を行うこと。